

# エコプラン平成28年度実績報告書

## 1. 温室効果ガス排出量算定結果

### (1) 温室効果ガスの排出削減目標

佐世保市では、市役所自らの業務によって排出される温室効果ガスを削減するため、「佐世保市役所エコプラン」(以下、エコプランという。)を策定し、地球温暖化防止に向けて取り組みを進めています。

エコプランでは、平成25年度から平成29年度までの5年間を計画期間とし、平成29年度における排出量を、平成22年度比で6%削減することを目標としています。温室効果ガス排出量が多い施設を有する事業ごとに部門別削減目標を設定し、エコプランの進捗管理は佐世保市環境マネジメントシステムで行っています。

エコプランの取り組みの基本的方針(「1 省エネ行動の実践」、「2 施設における省エネルギー化の推進」、「3 環境負荷の少ないエネルギーの利用推進」、「4 公用車における省エネルギー化の推進」、「5 ごみの減量化、資源化の促進」、「6 その他(事務用紙使用量の抑制や節水、グリーン調達の推進等)」)に基づく活動とあわせて、「環境法規制の順守」や「公共工事の環境配慮」を対象とし、PDCAサイクルを活用した取り組みを行い、継続的改善を図ることで、市役所全体の目標達成を目指しています。

### (2) 平成28年度における温室効果ガス排出量

平成28年度における温室効果ガス排出量は、CO<sub>2</sub>換算で83,213,427kg-CO<sub>2</sub>でした。基準年度(平成22年度)における温室効果ガス排出量に比べ5.03%減少しました。

#### 【部門別の排出量(平成28年度)】

部門	対象施設等		H22年度排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	H28年度排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	増減率
事務	事業部門以外(交通を含む)		16,152,314	13,492,023	-16.47%
事業	ごみ処理	環境部 施設課、西部CC、西部CC浸出水、西部CC資源化、西部CC灰溶融、東部CC、宇久環境センター、宇久清掃センター、宇久一般廃棄物最終処分	53,784,099	61,084,469	13.57%
	し尿処理	環境部 クリーンピュアとどろき宇久衛生センター	2,889,134	2,625,434	-9.13%
	水道	水道局 水道事業(東部管理グループ含む)、北部管理事務所、宇久営業所、水道施設課、山の田浄水場、大野浄水場、柚木浄水場、広田浄水場	5,875,775	4,910,724	-16.42%
	下水道	水道局 下水道事業課、下水道施設課・水質管理センター、下水処理課(施設使用分)	4,204,170	1,100,777	-73.82%
	病院	総合病院 総務課、経営企画課、財務課、看護専門学校	4,714,071	—	-100.00%
合計			87,619,563	83,213,427	-5.03%

温室効果ガス種類別割合では二酸化炭素が96.72%と大半を占めており、排出原因では廃プラスチックの焼却によるものが62.14%、電気の使用によるものが25.76%を占めています。

基準年度(平成22年度)と比べ、廃プラスチック焼却量が、18.5%増加したことから、ごみ処理部門における排出量は、基準年度(平成22年度)比13.57%の増加となっています。

排出量が減少した主な理由は、下水道部門や事務部門における複数施設の指定管理等への移行や、総合病院が独立行政法人となったことにより、エコプランの対象外となったことがあげられます。

なお、これらの要因は、総排出量への影響が大きいことから、各影響を除いた場合の総排出量の増減率を試算すると、基準年度(平成22年度)比7.35%の削減となり、エコプランの取り組みは一定の効果を得ていると考えられます。

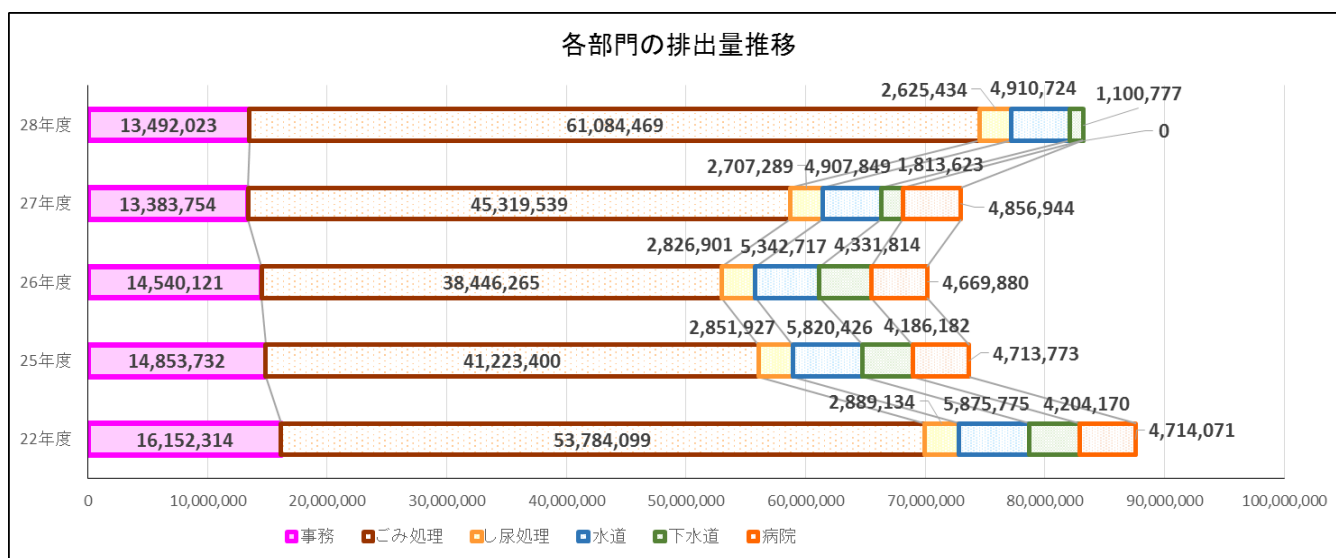
### 【温室効果ガス別内訳(平成28年度)】

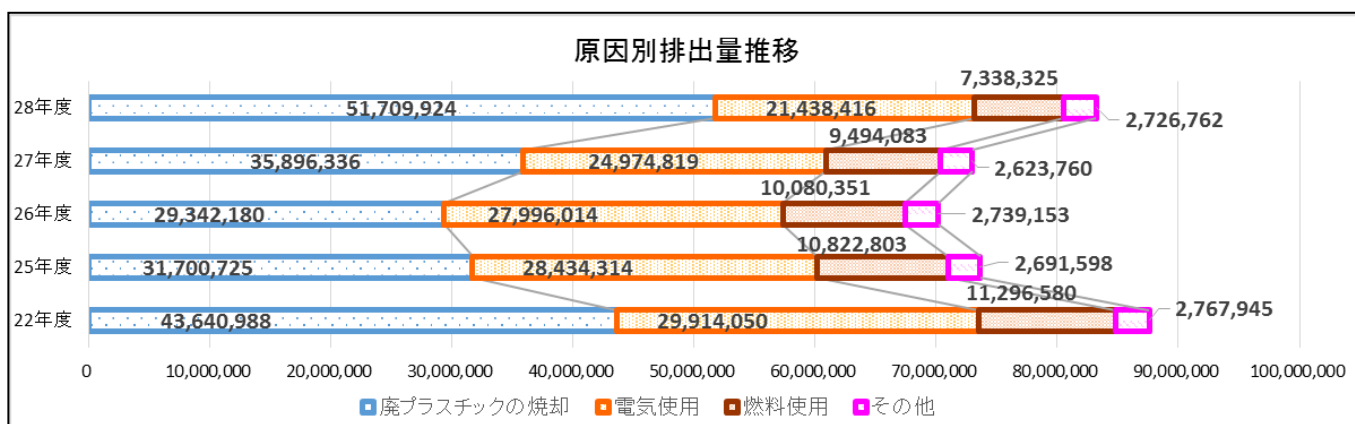
温室効果ガス名	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	構成比 (%)
二酸化炭素	80,486,665	96.72
一酸化二窒素	2,316,010	2.78
メタン	405,552	0.49
ハイドロフルオロカーボン	5,200	0.01

### 【排出原因による内訳(平成28年度)】

排出原因	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	構成比 (%)
廃プラスチックの焼却によるもの	51,709,924	62.14
電気の使用	21,438,416	25.76
燃料の使用	7,338,325	8.82
その他	2,726,762	3.28

### (3) 年度における温室効果ガス排出量の推移





## 2. エネルギー使用量等実績

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。全課かいで、エネルギー7項目（電気・ガソリン・軽油・A重油・灯油・都市ガス・LPG）の使用量、事務用紙使用量、水道使用量、可燃ごみ排出量の削減に取り組みました。

### (1) 目標値の設定について

エコプランにおいては、ガソリンを除く各エネルギー使用量の削減目標を部門毎（事務系、ごみ処理事業、し尿処理事業、水道事業、下水道事業、病院事業）に、ガソリン、事務用紙、水道、可燃ごみの削減目標を、共通で設定しています。

### (2) 平成28年度結果

取組み結果は以下のとおりとなっています。下記の10項目のうち8項目（電気使用量、ガソリン使用量、軽油使用量、A重油使用量、都市ガス使用量、LPG使用量、事務用紙使用量、水道使用量）において順調に削減できています。灯油使用量については、基準年と比べ削減できていないものの、温室効果ガス削減のためのロードマップ（目標年までに削減しなければならない割合を計画期間で平均的に削減を進めた場合の例）に示す削減割合の達成には至っていません。可燃ごみ排出量は、佐世保市学校給食センターの新設が主な要因で増加しました。

#### 【総括 各エネルギー使用量等の削減割合】

総括	基準年度使用量 (22年度)	27年度		28年度	
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)
電気使用量(Kwh)	77,698,839	64,869,667	-16.51%	55,684,204	-28.33%
ガソリン使用量(L)	287,703	241,032	-16.22%	251,674	-12.52%
軽油使用量(L)	1,570,817	1,273,258	-18.94%	1,114,831	-29.03%
A重油使用量(L)	578,824	399,763	-30.94%	251,300	-56.58%
灯油使用量(L)	782,433	761,292	-2.70%	754,473	-3.57%
都市ガス使用量(m <sup>3</sup> )	1,115,032	976,335	-12.44%	386,244	-65.36%
LPG使用量(kg)	164,988	141,781	-14.07%	143,387	-13.09%
事務用紙使用量(枚)	27,367,137	29,082,836	6.27%	22,637,301	-17.28%
水道使用量(m <sup>3</sup> )	316,684	304,880	-3.73%	234,449	-25.97%
可燃ごみ排出量(kg)	63,297	70,546	11.45%	74,656	17.95%

【部門毎の各エネルギー使用量等の削減割合】

事務系	基準年度使用量 (22年度)	27年度		28年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	22,162,894	18,655,311	-15.83%	19,741,641	-10.92%	-5.00%
ガソリン	287,703	241,032	-16.22%	251,674	-12.52%	-5.00%
軽油	1,553,627	1,259,752	-18.92%	1,096,929	-29.40%	-5.00%
A重油	257,694	168,160	-34.74%	149,200	-42.10%	-5.00%
灯油	277,783	270,185	-2.74%	282,874	1.83%	-5.00%
都市ガス	436,533	343,675	-21.27%	386,244	-11.52%	-5.00%
LPG	158,367	138,148	-12.77%	141,464	-10.67%	-5.00%
ごみ処理事業	基準年度使用量 (22年度)	27年度		28年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	17,861,844	16,541,474	-7.39%	16,739,244	-6.28%	-10.70%
軽油	17,120	13,264	-22.53%	17,670	3.21%	-10.70%
A重油	164,400	134,800	-18.00%	101,600	-38.20%	-10.70%
灯油	502,257	489,751	-2.49%	470,979	-6.23%	-10.70%
LPG	2,961	1,249	-57.83%	1,419	-52.07%	-10.70%
し尿処理事業	基準年度使用量 (22年度)	27年度		28年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	7,137,732	6,670,512	-6.55%	6,454,312	-9.57%	-5.50%
灯油	1,000	140	-86.00%	320	-68.00%	-5.50%
LPG	642	212.6	-66.89%	218	-66.11%	-5.50%
水道事業	基準年度使用量 (22年度)	27年度		28年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	15,249,280	12,743,564	-16.43%	12,749,007	-16.40%	-5.00%
軽油	0	190	22年度使用なし	232	22年度使用なし	-5.00%
A重油	0	0	22年度使用なし	500	22年度使用なし	-5.00%
灯油	1,000	390	-61.00%	100	-90.00%	-5.00%
都市ガス	354	0	-100.00%	0	-100.00%	-5.00%
LPG	502	39	-92.27%	52	-89.66%	-5.00%
下水道事業	基準年度使用量 (22年度)	27年度		28年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	8,195,096	2,113,045	-74.22%	0	-100.00%	-7.00%
軽油	70	53	-24.71%	0	-100.00%	-7.00%
A重油	2,730	803	-70.57%	0	-100.00%	-7.00%
灯油	393	790	101.02%	200	-49.11%	-7.00%
LPG	325	313	-3.54%	234	-27.89%	-7.00%
病院事業	基準年度使用量 (22年度)	27年度		28年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	7,092,013	8,145,761	14.86%	-	-	-5.00%
軽油	0	0	22年度使用なし	-	-	-5.00%
A重油	154,000	96,000	-37.66%	-	-	-5.00%
灯油	0	36	22年度使用なし	-	-	-5.00%
都市ガス	678,145	632,660	-6.71%	-	-	-5.00%
LPG	2,191	1,820	-16.93%	-	-	-5.00%

### 3. 環境活動の取組目標の達成状況

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。平成28年度の取組目標における、部局内各課の達成状況の評価の詳細は、別紙のとおりとなります。

#### (1) 省エネ行動

「業務の効率化、労働時間の短縮」については、不十分と評価した部局が1割程度ありましたが、業務の都合上やむを得ないこともあります。総体的には、概ね実施されていました。

#### (2) 施設における省エネルギー化

「高効率な設備機器の優先導入」については2割程度、「建築物の省エネルギー化の推進」については1割程度、不十分と評価した部局がありました。「設備機器の効率的な運転管理」については、対象とする全部局で概ね実施されていました。

#### (3) 環境負荷の少ないエネルギー利用

「再生可能エネルギーの率先導入」について、4部局において検討等されていました。

#### (4) 公用車における省エネルギー化

「エコドライブの徹底」、「効率的な運行管理」については、対象とする全部局で概ね実施されていました。「低燃費車の導入」については、不十分と評価した部局が1割程度ありました。

#### (5) その他

「ノーマイカーデーの実施」については、不十分と評価した部局が4割程度ありましたが、交通の利便性や子どもの送迎等、やむを得ないこともあります。「事務用紙使用量の抑制」、「廃棄物の削減、リサイクルの推進」については、ほとんどの部局で概ね実施されており、その他の取組方針については、全部局で概ね実施されていました。

#### (6) 環境法規制等の順守

ほとんどの部局で遵守されています。一部部局において遵守漏れがありましたが、すでに対応済みです。

#### (7) 公共工事の環境配慮

対象とするすべての部局で実施できていました。

### 4. 研修

適切なEMSの推進を目的とし、職員の環境マネジメントシステムに関する理解を深めるため、下記の研修会を実施しました。

・ 新人職員研修

(日時) 5月30日(月)

(対象) 新人職員(受講者 81名)

(内容等) 市役所における地球温暖化対策への取り組みについて

・ 課長、EMS 実行委員研修

(日時) 5月19日(木)(受講者 327名)

(対象) 各課長及びEMS 環境実行委員

(内容等) 環境問題の現状、概要、運用のポイント 等

・ 内部環境監査員養成研修

(日時) 11月18日(金)

(対象) 環境保全課計画係職員(受講者 6名)

(内容等) 環境基礎講義、内部監査の手順、内部監査のポイント、ケーススタディ演習 等

## 5. 平成28年度内部環境監査実施結果

### (1) 監査実施日

平成28年11月25日(金)～平成29年2月7日(火)

### (2) 監査対象課かい

被監査部門 36課かい

総務部	職員課
観光商工部	商工物産課、観光課、ふるさと納税推進課
農林水産部	農業畜産課、水産課、卸売市場
都市整備部	住宅課、地籍調査課
市民生活部	人権男女共同参画課、大野支所、江上支所、三川内支所
保健福祉部	生活福祉課、試験検査課、生活衛生課、指導監査課
子ども未来部	子ども育成課、子ども保健課
環境部	クリーン推進課、クリーンピュアとどろき
消防局	指令課、予防課、中央消防署
水道局	営業課、水道維持課、下水道施設課・水質管理センター
教育委員会	学校教育課、三川内地区公民館、大野地区公民館、南地区公民館、 江上地区公民館、広田地区公民館、山澄地区公民館、崎辺地区公民館

環境法規制の該当がある施設、機構改革や庁舎移転のあった施設、その他事務局において、現在の取組状況や業務における環境への影響等を勘案し、監査する必要があると判断した課かいを対象としました。

### (3) 監査チーム

内部環境監査員7名により21チームを編成(1チームあたり2名)

#### (4) 監査の内容

佐世保市環境マネジメントシステムとの適合状況や日々の取組状況等について確認しました。監査チームは、主に以下の項目について監査を実施しました。

監査項目	主な点検内容
a. 省エネ省資源行動	省エネ省資源行動等について、取組目標が適切に設定され、効果的に実施されているか
b. 環境投資	設備機器の省エネ化や環境負荷の少ないエネルギー利用等が検討・実施されているか
c. 環境法規制等	適用を受ける法規制等が順守されているか
d. 公共工事の環境配慮	点検マニュアルの対象工事について、点検が適切に実施されているか
e. 取組状況の評価	取組状況の確認や評価が適切に実施されているか
f. 是正対応	課題に対して適切な是正が実施されているか
g. 研修の実施	適切に職場研修が実施されているか 理解度は十分か

#### (5) 監査結果

優秀事項 2件

要改善事項 16件

##### 「優秀」事項の内容

《住宅課》 照明スイッチによる効果的な消灯の実施

常時消灯可能な箇所、離席時や昼休時に消灯する箇所、来客時や使用時のみ点灯する箇所を特定し、点灯マップを作成しています。

点灯マップに基づき、照明のプルスイッチに、「来客時点灯」「使用后消灯」等と色分けのうえ表示し、誰でも理解しやすいよう工夫するとともに、実施方法を周知のうえ、消灯に取り組んでいます。

課独自で創意工夫を行い、限られたエネルギー資源の有効活用に努めており、他課へ波及が見込まれる取り組みです。

《消防局》 公用車の一元管理による効率的な使用

公用車使用の際は、消防局全体で一つのホワイトボードに行先や予約を記入して使用しています。相乗りを推進することで、少ない台数での運行管理を可能にし、燃料費削減や環境面への配慮につながっています。

部局全体での取り組みは、通常各課管理と比べ、環境面だけでなく、公用車の稼働率や利便性の向上も期待でき、財政や業務の効率化につながる模範的な取り組みです。

##### 「要改善」事項の内容

###### a. 省エネ省資源行動

具体的でない取り組みを目標に設定したことにより、各職員の取り組みが統一されていない課か、課内での取り組みが困難な目標を設定したことにより、取り組んでいない課かがありました。また、設定した目標に基づく取り組みが行われていない課かもありました。各課の日

常業務で取組可能な具体的目標を設定し、設定した目標の周知及び遵守を行う必要があります。

#### b. 環境投資

要改善の指摘はありませんでした。

#### c. 環境法規制等

フロン排出抑制法に係る対象機器の特定や簡易点検の実施、記録簿の作成・保管等について遵守できていない事例が散見されました。

他には、県未来環境条例（騒音関係）に基づく対象機器の未届、産業廃棄物の保管場所の明示がされていない事例もありました。

#### d. 公共工事の環境配慮

要改善の指摘はありませんでした。

#### e. 取組状況の評価

要改善の指摘はありませんでした。

#### f. 是正対応

取組目標に対する評価が「×」であったが、是正計画を立てておらず、取組状況が改善されていない事例がありました。過去の取り組みを振り返り、是正計画を立て、継続的に改善していくというEMSの仕組みを今一度確認し、再発防止に努める必要があります。

#### g. 研修の実施

要改善の指摘はありませんでした。

### システムにかかる課題

EMSでは、課単位で目標の設定や評価等を行うこととしており、複数場所（施設等）に分かれ業務を行っている課においても、原則、同じ目標による取り組みを行い、一体的な評価を行うこととしています。しかし、課内（主な業務場所内）での取り組みが中心となり、施設等における取り組みの認識が無いケースがありました。

課（主な業務場所）と一体的な取り組みが難しく、また、独立して取り組むには規模等が小さい施設等について、取組単位を当該施設等とするか、または所管課で一体的に取り組むかを、再度整理する必要があります。

### 改善措置等

監査においては、14課かいにおいて16件の「要改善」の判定がありました。「要改善」の指摘事項に対しては、監査対象課から適切な改善措置の実施、もしくは、改善計画が出されています。

## （6）まとめ（監査結果を踏まえ）

監査の結果、「環境法規制の遵守」について改善が必要であると考えられたため、平成29年度の研修会においては、関係課かいを対象として、「フロン排出抑制法」を中心に、違反の多い法令について説明を行いました。また、「フロン排出抑制法」の対象機器の把握を行うなど、各課での遵守漏れを防ぐための対応を行っています。

なお、監査においては、要改善事項だけではなく、他課の模範となるような優秀事項を確認しているため、職員へ紹介し、より一層のEMSの推進に努めています。



## 6. 平成28年度実績における評価

平成28年度温室効果ガス排出量は、基準年度に比べて削減しておりますが、部門別に見ると、基準年度より排出量が増加した部門もあるため、今後も引き続き、取り組みを推進していく必要があります。

各部局における取組目標の達成状況については、「高効率な設備機器の優先導入」、「低燃費車の導入」等の率直的な取組方針、「業務の効率化、労働時間の短縮」、「ノーマイカーデーの実施」については、不十分だと評価した部局が散見されました。総体的には、各部局における取組目標は概ね実施されており、不十分だと評価した取組目標についても、実施内容の見直しが検討されています。

「佐世保市役所エコプラン」は、計画期間が平成29年度までとなっており、改訂作業を控えています。職員の日々の取り組みによる削減には限界があるため、さらなる推進のためには、「これまでの取組」の強化はもとより、照明や空調設備等「ハード面」での省エネ化を図っていく必要があると考えます。

現行のエコプランでの課題を整理し、効率的に省エネルギー化を図る手法を検討していきます。また、研修や内部監査を実施することにより、システムの継続的な改善を図っていきます。

各部署における環境活動の取組目標の達成状況(「(様式3) 部署環境活動総括シート」の集約)

部署名	区分	省エネ行動					施設における省エネルギー化			環境負荷の少ないエネルギー利用		公用車における省エネルギー化			その他						環境法規制等の遵守	公共工事の環境配慮
		冷暖房機器の適正管理	照明機器の適正管理	OA機器の適正管理	その他機器の適正管理、利用	業務の効率化、労働時間の短縮	高効率な設備機器の優先導入	設備機器の効率的な運転管理	建築物の省エネルギー化の推進	再生可能エネルギーの優先導入	ごみ焼却施設等から発生する余熱の有効利用	エコドライブの徹底	効率的な運行管理	低燃費車の導入	事務用紙使用量の抑制	節水	廃棄物の削減、リサイクルの推進	グリーン調達の推進	ノーマイカーデーの実施	イベント等における環境配慮		
基地政策局	達成度	100	100	100	100	80	—	—	—	—	—	80	100	—	100	100	—	100	80	—	—	—
	区分の平均	96					—			—		90			95						—	—
行財政改革推進局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	100	100	100	100	0	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		100			80						—	—
企業立地推進局	達成度	90	100	100	100	100	—	—	—	—	—	100	100	100	100	100	100	100	—	100	—	—
	区分の平均	98					—			—		100			100						100	—
防災危機管理局	達成度	100	100	100	90	80	—	—	—	—	—	100	100	—	80	100	100	100	80	100	—	—
	区分の平均	94					—			—		100			93						—	—
契約監理室	達成度	100	95	60	95	95	—	—	—	—	—	100	—	—	90	100	100	100	40	100	—	—
	区分の平均	89					—			—		100			88						—	—
企画部	達成度	100	99	93	91	89	80	100	80	—	—	94	96	100	94	98	93	93	91	97	100	—
	区分の平均	95					87			—		97			94						100	—
総務部	達成度	97	100	90	97	90	—	—	—	—	—	87	100	80	92	97	100	97	88	—	—	—
	区分の平均	95					—			—		89			95						—	—
財務部	達成度	96	98	88	88	80	100	100	80	100	—	95	100	80	80	96	100	100	40	—	100	—
	区分の平均	90					93			100		92			83						100	—
観光商工部	達成度	95	95	88	95	38	—	100	—	—	—	100	100	—	80	100	75	100	85	93	100	—
	区分の平均	82					100			—		100			89						100	—
農林水産部	達成度	95	97	90	100	83	94	96	93	80	—	90	100	90	82	93	95	93	76	93	100	—
	区分の平均	93					94			80		93			89						100	—
都市整備部	達成度	92	100	96	99	84	100	—	—	—	—	99	100	88	90	100	99	98	90	100	100	100
	区分の平均	94					100			—		95			96						100	100
土木部	達成度	100	88	98	95	80	—	—	—	—	—	95	95	—	98	90	85	90	85	80	100	100
	区分の平均	92					—			—		95			88						100	100
港湾部	達成度	95	85	100	100	80	80	100	80	—	—	90	95	80	90	100	90	100	80	80	100	100
	区分の平均	92					87			—		88			90						100	100
市民生活部	達成度	94	96	92	97	89	86	93	85	—	—	95	94	91	91	98	96	96	69	97	100	—
	区分の平均	93					88			—		93			91						100	—
保健福祉部	達成度	97	99	88	92	83	90	97	87	—	—	94	93	56	84	96	91	96	72	92	100	—
	区分の平均	92					91			—		81			89						100	—
子ども未来部	達成度	95	97	93	90	65	—	80	—	—	—	90	93	100	78	97	90	90	63	80	100	—
	区分の平均	88					80			—		94			83						100	—
環境部	達成度	98	99	91	96	93	90	100	93	80	100	98	87	90	84	100	97	100	87	97	100	—
	区分の平均	95					94			90		92			94						100	—
会計管理室	達成度	100	100	100	100	80	—	—	—	—	—	—	100	—	100	100	100	100	—	—	—	—
	区分の平均	96					—			—		100			100						—	—
消防局	達成度	91	94	85	96	93	—	97	100	—	—	98	98	—	91	96	96	90	77	98	100	—
	区分の平均	92					99			—		98			91						100	—
交通局	達成度	90	100	95	90	40	50	90	100	—	—	90	90	—	90	100	100	95	80	100	100	—
	区分の平均	83					80			—		90			94						100	—
水道局	達成度	95	94	90	94	90	91	94	98	100	—	98	95	88	84	96	93	98	92	100	100	100
	区分の平均	93					94			100		94			94						100	100
教育委員会	達成度	89	97	87	97	93	70	95	78	—	—	97	98	72	92	97	94	96	76	94	99	—
	区分の平均	93					81			—		89			92						99	—
議会事務局	達成度	100	100	80	80	80	—	—	—	—	—	100	80	80	100	100	100	100	80	—	—	—
	区分の平均	88					—			—		87			96						—	—
選挙管理委員会事務局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	100	100	40	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		—			88						—	—
監査事務局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		—			100						—	—
農業委員会事務局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	80	100	—	100	80	100	80	80	80	—	—
	区分の平均	100					—			—		90			87						—	—